

公開講演会「美術館と地域文化」

広島県立美術館，奥田元宋・小由女美術館，ひろしま美術館と連携し，館長による公開講演会を実施しました。

第1回 10月12日（金）

「『美術館革命』って何？ ー地域と美術館ー」

広島県立美術館長 越智 裕二郎さん



かつて「美の殿堂」と呼ばれた美術館が日本各地に建てられていった歴史，地域につくられた美術館の役割，美術館のマネージメントなど，多くの実例を挙げながら，わかりやすくお話しくださいました。また，開催中の特別展のみどころについても解説がありました。

第2回 11月8日（木）

「都市広島の中核性と美術館の役割」

奥田元宋・小由女美術館長 村上 勇さん



美術館が都市機能の一端を担う重要な施設であることを，大正4年に設立された私立美術館「観古館」の例をはじめとして，松江・広島・三次の美術館・博物館での経験を踏まえながら示してくださいました。広島の文化資源の重要性や，歴史，風土，文化をまとめる美術館活動の可能性についてもお話しくださいました。

第3回 11月27日（火）

「名画を楽しむ」

ひろしま美術館長 宇田 誠さん



印象派の絵画で知られるひろしま美術館の設立経緯や，絵画史上における印象派の位置づけなど，名画のスライドとともにお話しくださいました。また，すぐれた絵画や美術作品に恵まれながら，それらに触れる機会が少ないという現状の課題を指摘し，「本物の絵の前に立つ」ことの大切さを説かれました。